

【企画もの】

初めて買ってみた日記

～オシャレなシャープペンシル編～

私が現在使っている文具はたいてい大学生協の購買部で一番安いものか貰い物が多い。これを機に文房具が豊富にそろそろ売り場にわざわざ赴き、「自分がオシャレだと思う」文具を選び購入するという体験をしてみた。

購入場所：近鉄百貨店生駒店 生活雑貨専門店「ロフト」

購入日：2020年6月13日

購入対象は実用性の高い文房具ということで「シャープペンシル」である！
今回私が購入したのはこの2本！

上：ゼブラ カラーフライト ¥330

下：ゼブラ エアーフィットライト ¥330（購入後に同社製品だった事に気づく）

水色である。



シャープペンシルや文具に限らず製品は形状が同じもので複数の色のパターンを多く展開する傾向がある。カラーペンと異なりシャープペンシルのカラーバリエーションに機能性はない。つまりこの仕様は購入者の好みに寄り添うための物であるだろう。

私は水色が大好きだったのである。それだけである。

さて。

どういう部分がおしゃれだと思ったのか。

形状、質感、様々な注目すべき点があるがその中でも私が特に興味を惹かれたのは**配色**である。

売り場に一通り目を通すと単色（＋白、黒、メタルなどの無彩色）で構成されるデザインのものや複数の色味でデザインされるものがあった。**調和的で統一感が感じられる単色デザイン**が私の好みである。

写真上のペンは黒いフォルムに、クリップの部分にアクセントカラーのようにビビッドなターコイズブルーが入っていた。分類としては単色デザインであるといえるであろう。更に黒とビビッドカラーは互いに強い色でありどちらかを消してしまうこともなく、さらに黒が無彩色であるためこの2色は**絶妙に調和し**、全体として**ポップで洗練されたイメージ**を抱かせるのである。**オシャレだ**と思う。

一方で写真下のペンも一見、ノック部分、クリップ部分、ペン先部分を除いてすべて水色一色のシンプルなデザインである。しかしこちらは上記の単色デザインと全く同じ属性のものであるとは断言できない。よく見ると印刷されている商品名の文字が赤色なのである。字体の線は細く、一見この赤色には全体の水色に対抗するほどの主張力はない。しかしながらこのささやかな挿し色が単調なデザインに一気に個性と魅力を与えているように感じる。パステルカラーよりの水色と強く鮮やかな色味の赤、このデザインの決め手は配色のバランスが拮抗していないところであろう。爽やかな印象を抱かせる水色の全体のボディに少しの不調和である赤色がささやかに、しかし一定の主張力を伴って差し込まれ、**シンプルながらも個性的なデザイン**を作り上げている。**この赤色の「意外性」**こそ、私がこのシャープペンシルをオシャレだと思った理由である！

感想

配色以外にも、「マットな質感」、「クリップ部分が凝った形状であるデザイン」など様々な個人的オシャレポイントはあったが文字数の問題上割愛した。やはり何より私が興味を持ったのは「配色」だったことが分かった。

これから何か製品を買う際、このように配色デザインについて考えながら選んでみるのも楽しそうだった。

（本稿は無記名原稿）

■ 本稿書誌情報 ■

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020 年度「文化社会学演習」WEB 版報告書〕 <https://bunbu-narajo.org/>

2020 年 8 月 1 日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp